

クラシックギター製作家 君島 聡氏による楽器構造論

1. 日時 : 2026年7月2日(木)4限 15:15～16:45
2. 場所 : F-215 学内聴講可
3. 対象学生(必修) : ギター・マンドリン専攻生
4. 講師紹介 : 君島 聡 氏

祖父 河野賢に憧れ、武蔵工業大学システム情報学部を卒業後、河野ギター製作所に入社。河野氏の甥でありその意志を継いだ桜井正毅の下でギター製作に励む。河野賢の「考えた事は全て試した。」という言葉を抱きしめ、自身でも思いつく限りの実験、試作を繰り返し、ギターの音作りを理解する。その後自身で製作した楽器が桜井に認められ、2021年、ギター製作家としてスタートを切る。河野賢と桜井正毅の研究と経験を受け継ぎ、ギターの品質を永続させるだけでなく、伝統的工法と革新的技術を融合させた製作で高い評価を獲得。日本の木材のみでギターを製作する和材ブランドの立ち上げなど、新しい技術への挑戦、モデルの開発にも取り組んでいる。

5. 講義概要 :

①ギター製作工程

②木材の話

③音作り理論

※「君島氏のギター」「桜井正毅氏のギター」の弾き比べも予定。
木材・構造・音響理論がどのように“音”を形づくるのかを、実演を交えて解説する予定です。